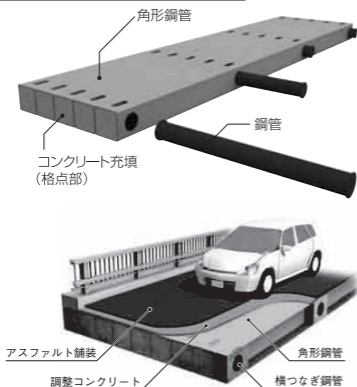


### 角太橋<sup>®</sup>（かくたばし） 日鉄エンジニアリング（株）

角形鋼管を敷き並べ、所定のピッチで鋼管を角形鋼管に挿入し、直交する格点部分にコンクリートを充填・固化することによってパネル化した構造です。従来の鋼構造と異なり、主要部材組み立てに溶接もボルト接合も使わない「溶接・ボルトレス構造」です。既設橋梁の更新や、市街地工事における急速施工や、狭隘地施工が可能な新工法です。

#### 支 承 形 式



- 道路橋示方書対応
- 鋼道路橋疲労設計基準準拠
- 短工期、軽量、低桁高
- 適用対象：  
小支間橋梁、路面覆工、  
栈橋床版、急速施工床版等
- 適用橋長：2m～20m程度

#### ■ 角形鋼管床版橋の適用可能範囲

主部材材質	BCR295
設計荷重	A活荷重、B活荷重、群集荷重
支間長	最大20m程度*
全幅員	無制限
斜 角	・角太橋 : 60°以上

● 曲線橋、拡幅のある橋への適用にあたっては地覆の張出し長を変化させることで可能ですが、プラケットを設けるなどの十分な配慮が必要です。

\*支間長が16m程度を超えると、死荷重キャンバーが必要となります。また、輸送可否、現場継手の設置等の検討が必要です。

#### ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。